

審査基準

審査項目		審査の視点	配点		
	様式				
県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮			40		
施設の管理運営方針	10-1	<ul style="list-style-type: none"> 文学書道館の設置目的を的確に把握しているか。 本県の文化振興における文学書道館の果たすべき役割について明確な方針を有しているか。 	10		
	10-11	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護、防災、非常事態時の対応やこれらの職場研修等、安全管理について検討されているか。 			
	10-12	<ul style="list-style-type: none"> 職員に対して、施設の管理運営に必要な研修並びに必要な知識、経験を積むことができる研修等を実施し、職員の育成策が確立されているか。 			
利用者ニーズの把握・分析と利用促進	10-2	<ul style="list-style-type: none"> 来館者のニーズや目的を把握し、リピーター喚起や新規来館者獲得に向け、的確な分析ができているか。 分析結果を踏まえ、施設の認知度向上や来館者増加に向けた具体的な方針が提案されているか。 より良い利用者サービスの向上について検討されているか。 	10		
		9		<ul style="list-style-type: none"> 文化事業についてのノウハウや実績、成果を有しているか。 	20
				10-3	
効率的な管理運営（経済性の追求）			20		
適正な維持管理	10-4	<ul style="list-style-type: none"> 建物、設備等の適正な維持管理を行うための方策が提案されているか。 	10		
収支計画	10-5-表1	<ul style="list-style-type: none"> 収支の内容が適正かつ実現可能であるか。 	10		
	10-5-表2	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営に係る経費の縮減について、現実的かつ効果的な工夫が検討されているか。 			
安定した管理のための人的・物的経営基盤の状況			30		
組織体制の整備	10-6	<ul style="list-style-type: none"> 文学書道館の機能を十分に発揮できる管理運営を行える体制となっているか。 セルフモニタリングの手法について、施設の効果的・効率的な管理運営やサービス向上に向け、具体的で現実的な提案があるか。 	10		
	10-7-表1 10-7-表2	<ul style="list-style-type: none"> 職員体制、雇用条件等の就業環境が整備されているか。 			
	職員の専門性	10-6 10-7-表1		<ul style="list-style-type: none"> 本件業務に関する専門的知識や最先端の知見、経験を有している職員を配置しているか。 	10
10-6		<ul style="list-style-type: none"> 職員の技術や能力育成策について検討されているか。 			
10-8		<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理に適切な者を配置しているか。 			
財務基盤等	8	<ul style="list-style-type: none"> 一定の財政基盤（財務状況）を有しているか。 	10		
	9	<ul style="list-style-type: none"> 類似施設の管理実績を有しているか。 			
地域への貢献及び地域との連携			10		
地域との連携・貢献	10-9	<ul style="list-style-type: none"> 地元雇用の維持拡大や地元企業への業務の委託など、地域への貢献について考慮されているか。 	10		
	10-10	<ul style="list-style-type: none"> 地域の関連団体や他の文化施設・文化団体との連携について提案されているか。 			
合 計			100		